

一般財団法人南アルプスみらい財団 令和6年度事業報告

事業計画に基づき、南アルプスの現場巡視、南アルプスユネスコエコパーク関係者との意見交換、防鹿柵設置等の環境保全活動及び普及啓発等の諸事業を実施した。

【事業の構成】

- 1 保全・活用促進事業
- 2 法人管理事業
- 3 受託事業

1 保全・活用促進事業

(1) 現場巡視及び調査事業

ア パトロール業務

南アルプスユネスコエコパーク核心地域を中心に、自然環境及び登山道、山小屋等の観光施設に関する現地情報の収集活動を行った。併せて、登山者や山小屋管理者と意見交換した。

活動期間	活動場所	日数
5月2日から4日まで	山塩館－鳥倉－三伏峠－本谷山	3日
5月10日	スリバチ沢(二軒小屋周辺)	1日
5月11日から12日まで	畑薙－茶臼岳	2日
5月14日から15日まで	榎島－聖沢－聖平	2日
5月18日	鳥倉－三伏峠	1日
6月13日から14日まで	悪沢－流沢(二軒小屋周辺)	2日
6月21日から23日まで	駒鳥池－荒川岳	3日
6月24日から27日まで	鳥倉－高山裏－内無沢－西小石沢	4日
6月29日	広河原	1日
7月4日から5日まで	広河原－北岳(北岳山荘、北岳肩の小屋)	2日
7月9日から11日まで	広河原山荘－北岳山荘－白根御池小屋	3日
7月12日から15日まで	広河原－北岳－間ノ岳	4日
7月18日から20日まで	広河原－北岳(北岳山荘、北岳肩の小屋)	3日
7月19日から20日まで	聖沢－聖平・薊畑	2日
7月23日から24日まで	畑薙－茶臼小屋－茶臼岳	2日
7月28日から30日まで	駒鳥池－千枚岳－丸山－荒川岳	3日
8月2日から4日まで	鳥倉－三伏峠－塩見岳－北俣岳	3日
8月9日	駒鳥池－千枚小屋	1日
8月22日から23日まで	聖沢－聖平・薊畑	2日
9月4日から5日まで	榎島－千枚小屋－千枚岳	2日
9月7日から8日まで	鳥倉－三伏峠－鳥帽子岳	2日
9月10日から11日まで	聖沢－聖平小屋－聖岳	2日
9月12日から13日まで	駒鳥池－千枚小屋－千枚岳－荒川岳	2日
9月27日から28日まで	芝沢－聖光小屋－聖平	2日
9月30日から10月3日まで	奈良田－間ノ岳－北岳(北岳山荘)－広河原	4日
10月4日から10月6日まで	榎島－千枚岳－荒川岳－荒川小屋	3日
10月12日	鳥倉－三伏峠	1日
10月20日から21日まで	畑薙－茶臼小屋－上河内岳	2日
10月26日から27日まで	榎島－赤石岳－百間平－赤石岳避難小屋	2日
	合 計	66日

その他、麓地域の地域資源を把握するため、関係者と現地視察を行った。

イ 調査支援業務

(ア) 調査支援

静岡県の依頼に基づき南アルプスモデル推進事業(静岡県事業)に係る現地調査に同行し支援した。

(イ) 研究支援

南アルプス学会と連携し、南アルプス学研究フィールドステーションを運営した。6月13日から11月4日までに3団体延べ12人に利用された。

(ウ) 視察支援

南アルプスモデル推進に寄与しうる人材をアドバイザーとして麓地域視察に招待した。

ウ 情報提供業務

パトロール業務において収集した現地の植生、融雪状況等を行政機関や関係者に共有した。当該情報は、ニホンジカ対策や環境モニタリング等に活用された。

(2) 自然環境保全事業

ア 防鹿柵管理業務

静岡県から令和6年度南アルプス高山植物保全対策業務を受託した他、同業務の実施に必要な雪融け時期の現地調査及び関係者による情報共有会議を開催(3月13日)した。また、他組織が開催した会議に2回(1月21日、2月18日)出席し、情報提供を行った。

イ 高山植物種子保存プロジェクト支援業務

プロジェクトに参画する高校生を対象に講義を行った。

ウ 環境保全活動参加促進業務

南アルプス高山植物保護ボランティアネットワークと連携し、令和6年度南アルプス高山植物保全対策業務における防鹿柵管理へのボランティアの参画を進め、延べ48人が活動に従事した。

エ 企画提案業務

高山のお花畑のモニタリングを効率的かつ継続的に進めるため、情報共有体制の構築及び一般参画の推進に向けた取組(「お花畑みまもりプロジェクト」)の本格稼働に向け、事前調査や関係者調整及び助成金の申請を行った。

(3) 利活用促進事業

ア 大井川源流の碑設置事業支援業務

令和6年に南アルプスユネスコエコパークが登録10周年を迎えることを契機として、南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会が主催する当該事業において、企画立案、関係者調整及び実務を行った。

(ア) 記念碑の制作

記念碑のデザイン案を制作・発注し、井川小中学校の生徒を対象に記念碑制作ワークショップを開催した。

(イ) ノベルティの制作

広報及び当該事業参加者へ配布するノベルティのデザイン案を制作・発注した。

(ウ) 銘板徒歩リレー

大井川河口部から間ノ岳直下(記念碑設置箇所)までの銘板の運搬者を募集・調整し、40団体延べ127人が参加した。

(エ) 記念碑運搬ボランティア(ボッカティア)

記念碑の基礎と台座を山梨県から間ノ岳直下(記念碑設置箇所)まで運搬するボランティアを募集・調整し、延べ33人が参加した。

(オ) 報告会

当該事業の参加者及び関係団体を対象とした事業報告会を開催した。事業のPRのため、一般来場者も来場可能とし、延べ約150人が来館した。

イ 交通アクセス改善検討業務

静岡県自然保護課が事務局を務める南アルプス交通アクセス改善検討会議に出席した。

日付	会議名	会場
令和6年5月8日	第4回南アルプス交通アクセス改善検討会議	静岡県庁
令和7年1月30日	第5回南アルプス交通アクセス改善検討会議	静岡県庁

ウ 交流人口拡充促進業務

- (ア) 南アルプス E-bike アドベンチャーツアー企画開発事業実施支援
 (公社) 静岡県観光協会が実施する当該事業において、山岳地域の自然解説や安全管理に関して助言及び現地視察支援を行った。
- (イ) 環境貢献プログラムの実施検討
 登山ツアーにおける環境貢献プログラムの実施に向け、関係者と実行可能なプログラムの検討や課題の整理を行った。

(4) 普及・啓発事業

ア 情報発信業務

財団ホームページや SNS を活用して、南アルプスの情報を発信した。

発信媒体	投稿件数
財団ホームページ	活動記録 7 件、イベントカレンダー (随時)
Facebook	9 件
Instagram	7 件

イ セミナー・連携イベント等実施業務

- (ア) 他団体との連携
 川根本町が主催する川根トレイル整備事業に参加した。
- (イ) 普及啓発活動の実施
 令和 6 年度南アルプスモデル推進業務を受託し、南アルプスの魅力や価値の発信を行うとともに、自然環境保全活動への参画の普及啓発を行った。

日付	テーマ	対象者	会場	参加者数
5月14日 ～8月1日	大井川源流の碑設置事業に参加しよう!	来店者	好日山荘静岡 パルコ店 (静岡市)	※
5月25日 ～26日	花咲く! しずおか 南アルプス情報局	浜松花博 2024 来客者	浜名湖ガーデン パーク (浜松市)	167 人
6月4日 ～27日	南アルプス国立公園指定 60 周年記念写真展	来場者	静岡県立中央図書館 (静岡市)	※
6月8日	みんなで描く南アルプスの未来 ～南アルプスの『いま』と『未来』～	南アルプスユネスコエコパーク 登録 10 周年記念イベント来場者	井川ビジターセン ター (静岡市)	300 人
6月15日	南アルプスの今と未来	南アルプスユネスコエコパーク 登録 10 周年記念イベント来場者	青葉シンボルロード (静岡市)	157 人
7月20日 ～11月10日	企画展「南アルプス一山とともに生きる」	来場者	ふじのくに地球環 境史ミュージアム (静岡市)	※
8月18日	サイエンスカフェ「レンジャー が見た南アルプスの“今”」	来場者	ふじのくに地球環 境史ミュージアム (静岡市)	17 人
8月24日	南アルプスユネスコエコパ ーク環境講座 in 井川	来訪者	井川ビジターセン ター (静岡市)	28 人
9月12日	南アルプスレンジャーのミ ニ講座@山小屋	登山客	千枚小屋 (静岡市)	40 人
10月12日	南アルプスが輝く未来デザイン	井川マウンテンマラソン 2024 参加者	井川ビジター センター (静岡市)	41 人
11月4日	南アルプスユネスコエコパ ーク核心地域の魅力	来訪者	井川ビジター センター (静岡市)	69 人

11月15日	南アルプス普及啓発資材 PR	ESDフォーラムミュージアムジャック 2024 参加者	ホテルアソシア 静岡（静岡市）	70人
12月14日～15日	行動の輪がつくり出す輝く南アルプスの未来	南アルプスユネスコエコパーク 10周年記念大会参加者	静岡市民文化会館（静岡市）	290人
2月11日～12日	静岡県側の南アルプス山岳域を疑似体験しよう！	来店者	MARK IS みなとみらい（神奈川県横浜市）	150人
3月8日～9日	南アルプスの人々の暮らしと自然を次の世代に	南アルプスユネスコエコパーク 10周年記念シンポジウム	グランシップ（静岡市）	98人

※無人展示においては、不特定多数の来訪があるため、実績に人数を計上しない。

ウ 環境教育業務

小学生から労働世代までの幅広い年齢層に対して、南アルプスの魅力等を伝える出前講座を開催した。

日付	テーマ	対象者	会場	受講者数
4月30日	南アルプスの生物多様性の根源と種子保存プロジェクトの意義	静岡県立磐田農業高校種子保存プロジェクト参加者	静岡県立磐田農業高校（磐田市）	7人
5月7日	ふるさとの山「南アルプス」を感じよう	常葉大学教育学部付属橘小学校 5年生	常葉大学教育学部付属橘小学校（静岡市）	40人
5月24日	南アルプスの自然環境 その魅力と現状	中央動物専門学校 学生	中央動物専門学校（静岡市）	40人
6月6日	せかいにほこる南アルプス～たくさんのおきもの～	静岡市立井川小中学校・川根本町立光の森学園 1～3年生	川根本町立光の森学園（川根本町）	24人
7月25日	南アルプスの魅力と現状	大井川広域水道企業団職員	榎島（静岡市）	10人
3月1日	連携により広がる見守りの輪、保全活動の輪	南アルプス高山植物保護指導員研修	静岡県庁	51人

また、南アルプス地域に関する研修や視察等を行う団体等の支援を行った。

日付	内容	対象者	視察先等	人数
5月10日	南アルプス沢視察	静岡県	井川	1人
6月13日～14日	南アルプス沢視察	静岡県	井川	1人
6月25日～27日	南アルプス沢視察	静岡県	井川	-

(5) 企画業務

ア 静岡県「南アルプスパートナーシップ宣言」への参画

静岡市の実施する南アルプスユネスコエコパークにおける活動と連携を図っていくため、当該パートナー宣言式典に出席し、宣言文の取り交しを行った。

イ トランスジャパンアルプスレースを応援する会への協力

大会の応援に係る広報等を行い、当該イベントに協力・支援した。

ウ 山岳4団体との意見交換

日本山岳会静岡支部、静岡県山岳・スポーツライミング連盟、静岡県勤労者山岳連盟及び静岡市山岳連盟と意見交換を定期的（7月24日、10月24日）に行い、同団体が実施する静岡市等への要望活動に同席した。

エ 社会体験研修（県立高校教員研修）への支援

当団体の活動状況や自然環境の保全、環境教育について知見を深める機会となる「大井川源流の

碑銘板リレー」及び「井川マウンテンマラソンにおける普及啓発」業務を高校教員の社会体験研修として提供・実施した。

2 法人管理事業

(1) 会議運営事業

財団の法人活動の方針を決定するため、理事会、評議員会、監事監査及び現地視察を開催した。

開催日	会議	会場
令和6年5月31日	監事監査	書面
令和6年6月12日	第1回理事会	書面
令和6年6月20日	第1回評議員会	JR 静岡駅ビル パルシェ7階 第1会議室
令和6年6月20日	第2回理事会	書面
令和6年10月17日	第3回理事会	JR 静岡駅ビル パルシェ7階 D会議室
令和6年11月1日から 令和6年11月2日まで	現地巡検	川根本町、井川地区
令和7年3月19日	第4回理事会	ふじのくに地球環境史ミュージアム3階会議室

(2) 総務関連事務事業

ア 法務関係事務

役員任期期限等による登記に係る法務手続、財団運営に係る各種規程の策定及び改定を実施した。

イ 会計関係事務

事務局長を会計責任者として会計処理を行った。また、静岡県の南アルプスモデル推進事業費補助金の交付決定を受けた。

ウ 人事関係事務

(ア) 採用関係

令和6年4月1日付でレンジャー1人を採用し、給与及び賞与の支給、福利厚生 of 整備、勤怠管理を行った。

また、令和6年5月1日付けで企画総務課長の再任用し、関係機関に所定の手続きを行った。

(イ) 職員募集に係る手続

令和6年4月9日から5月9日まで、レンジャー補佐（非常勤）の募集活動を行った。応募件数は0件であった。

エ 職員の安全対策及び技術向上関係事務

財団就業規則第11条及び令和6年度事業計画に基づき、財団の求める人材像の形成と業務実施に必要な技術習得を目的として、研修会、研究会等への出席を促した。

日付	内容	場所
令和6年 8月20日-21日	キャリア開発研修として、業務への取り組み姿勢等について研修	静岡市
令和6年 8月24日-25日	ユネスコエコパーク地域内の山梨県内各地域の首長による、自然保護活動等への取組紹介ほか、フィールド活動体験	山梨県 (韮崎文化ホールほか)
令和6年 11月25日	南アルプスで活動する研究者による、自然保護や地殻活動観測について研修	静岡市
令和7年 2月1日-2日	雪上の登山技術の習得に係る研修と山岳関係者との意見交換	御殿場市

令和7年 2月4日-5日 2月18日-20日	ドローン操縦を行うための技能及び知識習得に係る研修	静岡市
------------------------------	---------------------------	-----

(3) 事務所整備事業

静岡市より南アルプス自然ふれあいセンター（静岡市葵区田代 1301 番 1）の一部を借り受け、活動拠点としている榎島ベースについて、引き続き施設の管理を行った。また、同施設に隣接する南アルプス学フィールドステーションについての管理にあたり、『使用のしおり』を作成し、利用上の留意事項を明記し、適正利用を推進した。

(4) 備品・物品管理事業

昨年度に引き続き、財団の現地活動用に車両2台をリースし管理した。

(5) 広報事業

財団を紹介するパンフレットを活用し、財団の活動紹介に努めた関係団体等との意見交換を通じて認知度向上に努めた。

また、財団の公式ロゴマークを名刺や封筒に活用する他、コースターやトートバックといったノベルティを制作し、財団の認知度向上につなげた。

加えて、新聞記者の現地取材等に対応し、活動状況を情報発信した。

日付	媒体	タイトル等
令和6年4月25日	静岡新聞	南アルプス保全・利活用へ 静岡市と10団体 取組共有、援助、連携宣言
令和6年4月27日	静岡新聞	南アルプス課題共有 静岡市、10社と「パートナーシップ」 鹿害対策や魅力発信
令和6年5月15日	静岡新聞	「大井川源流の碑」接地参加を銘板背負ってリレー形式 吉田町から南アルプスまで
令和6年5月15日	読売新聞	大井川源流の碑設置協力者募集
令和6年5月15日	静岡朝日テレビ	静岡県最北部の間ノ岳に大井川源流の碑を設置 ユネスコエコパーク登録10年を記念して
令和6年5月21日	中日新聞	南アルプスユネスコ登録10周年 大井川源流に石碑 徒歩リレー設置へ 参加の個人や団体募集
令和6年7月6日	静岡新聞	「大井川源流の碑」市民リレー 南アルプスユネスコ登録10周年 川の恵み 再認識
令和6年7月14日	静岡新聞	南アルプス学入門① 背景大井川源流の地から
令和6年7月22日	静岡新聞	「大井川源流の碑」銘板到達 南アルプス・間ノ岳直下 本体荷揚げし設置へ
令和6年8月17日	静岡新聞	南アルプス共生の頂 エコパーク登録10周年 (上) 高山の自然 進む植生保護 残る食害
令和6年9月1日	静岡新聞	南アルプス学入門⑧ 大井川 最初の一滴への冒険
令和7年2月16日	朝日新聞	南アルプス 安全に登って シーズンに向け静岡で講習会

3 受託事業

(1) 南アルプス高山植物保全対策業務

項目	内容
発注者	静岡県（くらし・環境部 環境局 自然保護課）
契約日	令和6年4月17日

契約金額	4,818,000円（内消費税相当額 438,000円）
委託期間	令和6年4月17日から11月29日まで
業務内容	
目的	南アルプス国立公園及び南アルプスユネスコエコパークの優れた自然景観と生物多様性を保全するとともに、適正な利用を図るため、以下の計画等に基づき、調査及び保全対策を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスニホンジカ対策方針（令和4年度改正、南アルプス自然環境保全活用連携協議会） ・生態系維持回復事業実施計画（令和3年度変更、静岡県） ・静岡県における南アルプスニホンジカ対策防鹿柵取組実績及び効果の検証・今後の取組方針（令和5年度変更、静岡県）
個別業務	<ul style="list-style-type: none"> （1）植物相及び植生の監視 <ul style="list-style-type: none"> ア ニホンジカの影響を把握するための調査 イ 植生保全対策の実施効果を把握するための調査 （2）植生保全対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ア 防鹿柵の整備 イ 植生保護柵の整備 （3）南アルプス高山植物種子保存プロジェクト対象植物の生育状況調査 （4）事業実施計画案の作成等

(2) 南アルプスモデル推進業務

項目	内容
発注者	静岡県（くらし・環境部 環境局 自然保護課）
契約日	令和6年7月19日
契約金額	6,578,000円（内消費税相当額 598,000円）
委託期間	令和6年7月19日から令和7年3月17日まで
業務内容	
目的	ユネスコエコパークが持つ3つの機能及び本県が提唱する、科学的知見に基づき環境保全を進めながら利活用を促進する「南アルプスモデル」の実現を図るとともに、南アルプスをより良い形で次世代に引き継ぐことを目的に実施する。
個別業務	<ul style="list-style-type: none"> 1 未来デザイン推進業務 <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス地域で活動する若手を中心とした意見交換会の実施 2 普及啓発活動実施業務 <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスでの取組や魅力を発信する活動の実施 3 魅力発信素材制作業務 <ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信素材の制作

(3) 南アルプス登山マナー・安全普及啓発業務

項目	内容
発注者	静岡県（スポーツ・文化観光部 観光交流局 観光政策課）
契約日	令和6年12月4日
契約金額	319,000円（内消費税相当額 29,000円）
委託期間	令和6年12月4日から令和7年3月14日まで
業務内容	
目的	南アルプスの保全と観光の調和を図るため、南アルプス国立公園を訪れる団体登山の引率者、企画者を中心とした登山に関心のある県民を対象に、登山マナーの普及啓発することを目的に講習会を実施する。
個別業務	<p>以下の内容を学ぶことができる講習会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス登山の特徴 ・遭難事例&困った登山者の事例から学ぶ安全登山 ・登山道ピッチマップ等の公開ツールを活用した登山計画の作成

	・施設（登山道・山小屋）の利用方法
--	-------------------

(4) 静岡新聞原稿執筆業務

項目	内容
発注者	株式会社静岡新聞社
契約日	令和6年7月1日
契約金額	20,000円（内消費税相当額 1,818円）
委託期間	令和6年7月1日から令和7年11月30日まで
業務内容	
目的	様々な専門分野の方々から見た、南アルプスの魅力を広く県民に伝える。
個別業務	令和6年7月14日、9月1日に「南アルプス学入門」コーナーに掲載する現行の作成。